



北陸新幹線の整備状況について

平成31年1月30日





全国の新幹線網と北陸新幹線のあゆみ

北陸新幹線のあゆみ

- 昭和47年 6月 基本計画決定
- 昭和48年11月 整備計画決定
- 平成 9年10月 高崎・長野間開業
- 平成17年 4月 福井駅部認可
- 平成21年 2月 福井駅部高架橋完成
- 平成24年 6月 金沢・敦賀間認可
- 平成27年 1月 金沢・敦賀間の開業時期の3年前倒し決定(政府・与党申合せ)
- 平成28年12月 小浜京都ルート決定
- 平成29年 3月 南回りルート(松井山手経由)決定
- 平成34年度末 金沢・敦賀間開業予定



北陸新幹線
 長野・金沢間 平成27年3月14日開業
 金沢・敦賀間 平成34年度末開業予定

凡例
 開業区間(2,765km)
 建設中区間(688km)
 未着工区間

○開業区間	○建設中区間	○未着工区間
北海道新幹線(新青森・新函館北斗間) 149km	北海道新幹線(新函館北斗・札幌間) 211km	北陸新幹線(敦賀・新大阪間)
東北新幹線(東京・新青森間) 675km	北陸新幹線(金沢・敦賀間) 125km	リニア中央新幹線(名古屋・新大阪間)
上越新幹線(大宮・新潟間) 270km	リニア中央新幹線(品川・名古屋間) 286km	
北陸新幹線(高崎・金沢間) 345km	九州新幹線(武雄温泉・長崎間) 66km	
東海道新幹線(東京・新大阪間) 515km	合計 688km	
山陽新幹線(新大阪・博多間) 554km		
九州新幹線(博多・鹿児島中央間) 257km		
合計 2,765km		



北陸新幹線（金沢・敦賀間）の概要

1 線路の概要

(1) 路線延長 約125.2km(金沢・敦賀間)

(2) 駅	金沢駅	(併設)
	小松駅	(併設)
	加賀温泉駅	(併設)
	芦原温泉駅	(併設)
	福井駅	(併設)
	南越(仮称)駅	(新設:越前市)
	敦賀駅	(併設)



出典 整備新幹線の工事実施計画書(平成24年6月 国土交通省)

2 工事の概要

(1) 工事延長 約114.6km (白山総合車両所・敦賀間) うち県内区間 74.4km

路盤	:約 2.5km(約 2%)	//	2.1km(約 3%)
橋りょう	:約16.4km(約14%)	//	10.5km(約14%)
高架橋	:約58.2km(約51%)	//	29.1km(約39%)
トンネル	:約37.5km(約33%)	//	32.7km(約44%)

(2) 主な構造物

トンネル	柿原トンネル	(約2.5km)
	第2福井トンネル	(約3.5km)
	新北陸トンネル	(約19.7km)
橋りょう	第2竹田川橋りょう	(341m)
	九頭竜川橋りょう	(414m)
	日野川橋りょう	(310m)

(3) 総工事費 1兆1,858億円〔1兆4,121億円に増額見込み〕

(うち、県内区間 約8,000億円)

(4) 完成予定 平成34年度末



2022年度末までの確実な敦賀開業

○ 県内工事の進捗状況



県内全区間で土木工事に着手

【九頭竜川橋りょう】 橋長414m、全国初の新幹線と道路の一体橋
・橋脚全8基施工完了、橋桁架設中(約7割完了)【2020年3月完成予定】



九頭竜川橋りょう完成イメージ

【新北陸トンネル】 延長約19.7km、新幹線のトンネルとしては全国6番目の長さ
・6工区[清水、奥野々、大桐、葉原、田尻、檜曲]に分けて本坑掘削中(約8割掘削完了)【2020年4月完成予定】



清水工区



葉原工区

敦賀開業による経済波及等効果

観光、ビジネス等による交流人口の拡大に伴い、県内における消費が増加し、大きな経済波及効果を創出

■ 敦賀開業による経済波及効果 (平成24年11月 北陸経済連合会調査)

経済波及効果



雇用創出効果



※福井県分の効果は、(一財)北陸経済研究所が試算

政投銀推計

経済波及効果 石川 678億円

北陸新幹線金沢開業1年

日本政策投資銀行北陸支店(金沢市)は、北陸新幹線金沢開業から一年間で石川県の観光需要が増えたことによる経済波及効果が約六百七十八億円にとどむと推計を発表した。石川の年間観光客販売額の約5%に相当する。

国や県などの各種統計を使用した二〇一五年三月十四日からの一年間を分析した。試算の基になる入り込み客数は、国内外からの宿泊や日帰りを合わせて前年同期比で二百五十八万人増えたと推計。

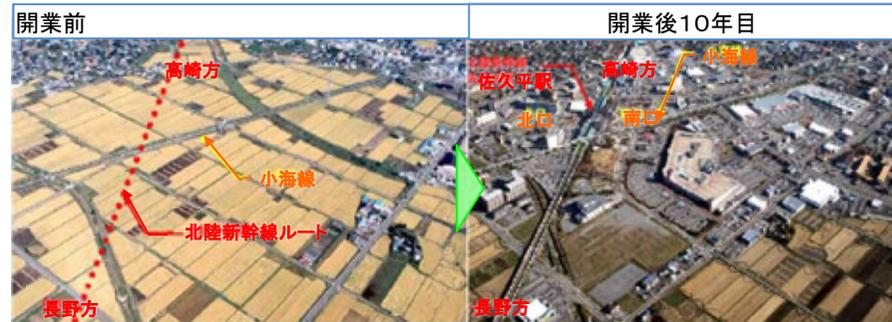
六百七十八億円の内訳は、買い物や飲食の直接効果が全体の七割近くを占める約四百五十四億円。原材料購入による間接・二次効果が約百四十四億円。二つの効果で増えた雇用者所得による消費支出増の間接二次効果が約八十一億円。

入り込み客数の増加分のうち外国人は約4%の九万九千人だが、消費の増加額は百一億円。直接効果分は二割強となり、日本人よりの消費単価が高いという結果が出た。

政投銀は今回の調査を踏まえた観光戦略について、外国人客は引き続き誘致に努めて数を増やし、日本人客は消費単価を上げる質の工夫をする二段構えの必要性を指摘する。具体的には①外国人には観光オフシーズンの冬の魅力をもっとアピールする②日本人に他地域にない風情ある街並みや歴史的な建物で食を味わえるといった「イメージ戦略」で売り込む一を提案。担当者は「石川の強みと弱みを意識した観光戦略に取り組みながら」としている。

北陸発

■ 沿線のまちづくり(長野県佐久市) 新たな経済活動の拠点として発展



平成29年1月15日(日)
日刊県民福井 4面



2022年度末までの確実な敦賀開業

○駅舎デザイン



芦原温泉駅



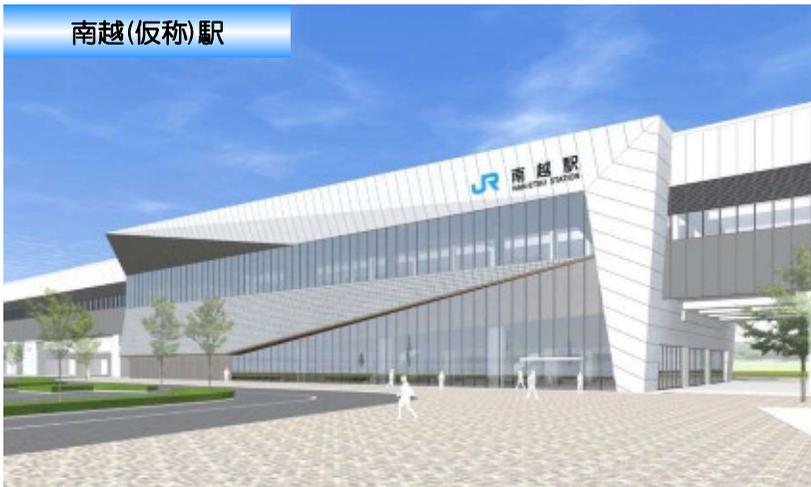
あわら温泉の癒しと旅情が漂う駅

福井駅



悠久の歴史を未来へつなぐシンボルゲートとなる駅

南越(仮称)駅



コウノトリが飛翔する未来への道標となる駅

敦賀駅



煌めく大海から未来へ飛翔する駅



2022年度末までの確実な敦賀開業

○ 新幹線開業に向けた県都・福井の玄関口整備



○新幹線駅舎の建設

- 年度内に新幹線駅舎の実施設計を終え、来年秋頃に工事着手予定
- 福井駅のデザイン「悠久の歴史を未来へつなぐシンボルゲートとなる駅」



新幹線福井駅イメージ
(2022年度完成予定)



拡張施設イメージ
(2022年度完成予定)
・待合スペースや県全域の
観光案内所等を設置予定

○福井駅西口広場にバス乗り場・電停を集約 (H28.3)

- バスターミナルを駅前に整備し、バス乗り場を集約
- 福井鉄道の電停を福井駅前に移設 (旧電停から約150m延伸)



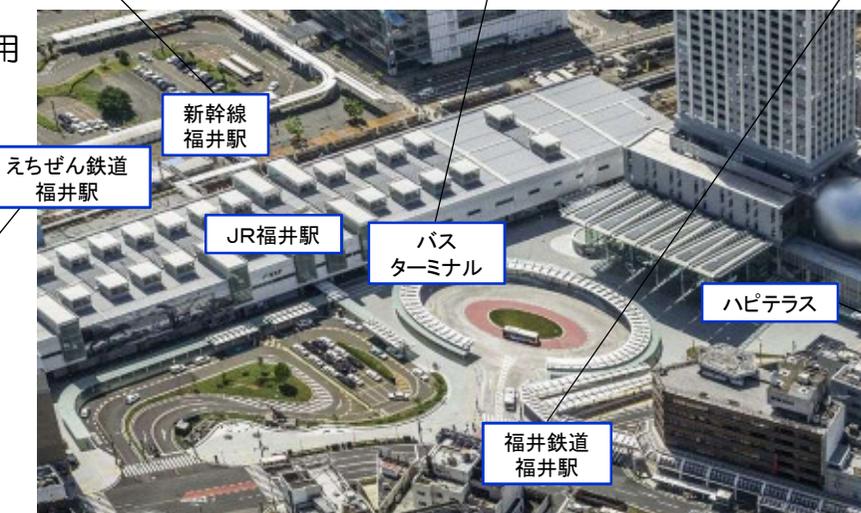
バスターミナル



福井鉄道福井駅

○えちぜん鉄道新駅舎の完成 (H30.6)

- 内装に県産スギ材をふんだんに活用
- ホーム東側は全面ガラス張り



ハピテラス

- 全天候型の屋根付き広場にぎわい交流拠点として活用

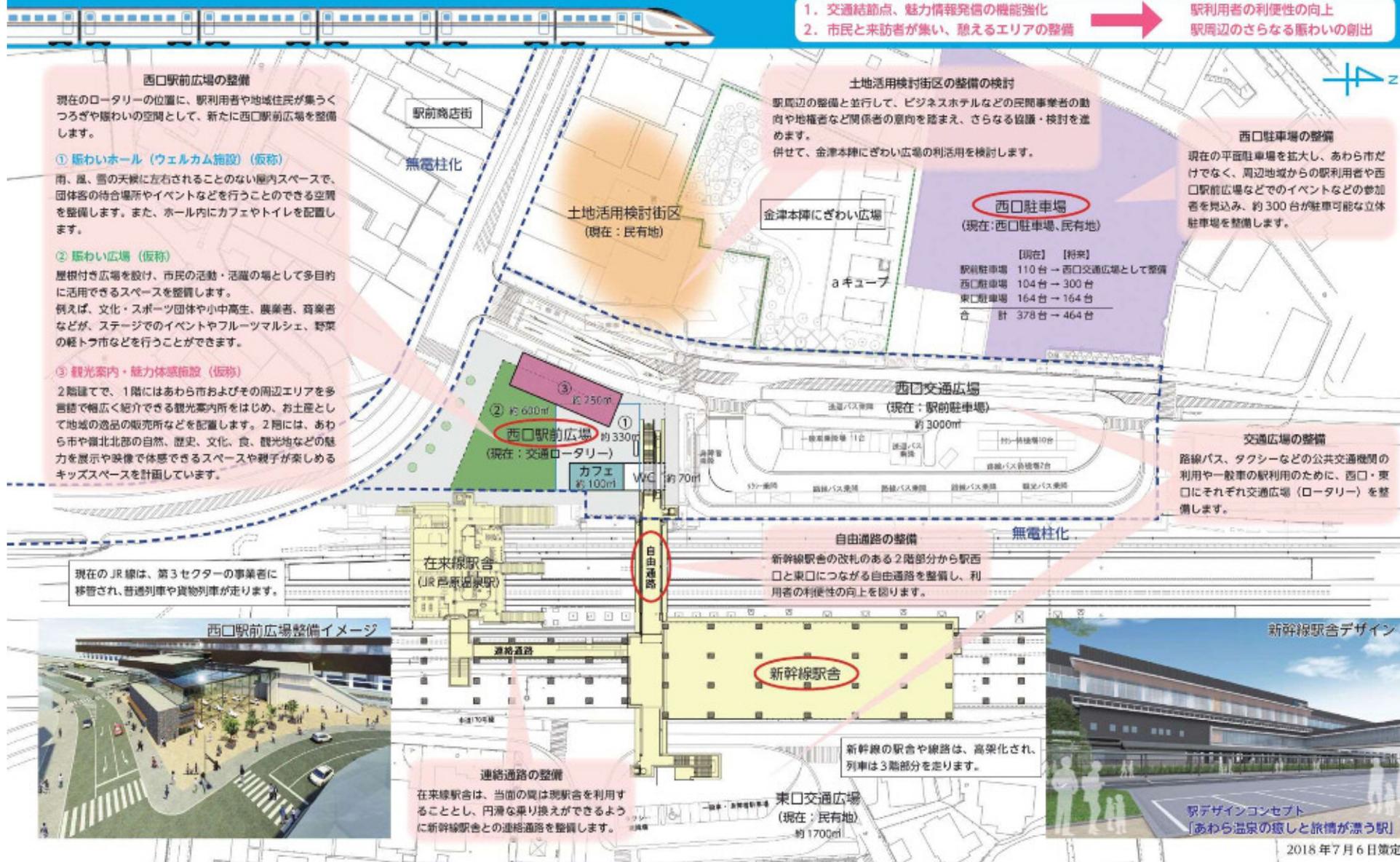


福井県の北の玄関口にふさわしい「和心あふれる賑わい空間」に!!

～芦原温泉駅周辺まちづくりプラン～

2023年春の北陸新幹線芦原温泉駅開業に向けて、市では、芦原温泉駅周辺賑わい創出協議会やあわら市地域ブランド戦略会議などにおいて、協議・検討を行ってきました。このたび、駅および駅周辺を福井県の北の玄関口にふさわしい交通結節点と魅力発信拠点として、駅利用者の利便性の向上を図るとともに、市民に親しまれ、市民と来訪者が集い、ともに憩えるエリアとして整備し、駅周辺のさらなる賑わいを創出するため、「芦原温泉駅周辺まちづくりプラン」を策定しました。今後は、年次計画を立て、着実に整備を進めていきます。

1. 交通結節点、魅力情報発信の機能強化
 2. 市民と来訪者が集い、憩えるエリアの整備
- 駅利用者の利便性の向上
駅周辺のさらなる賑わいの創出



敦賀駅周辺整備の状況



福井方面

大阪方面

① 駅西地区立体駐車場



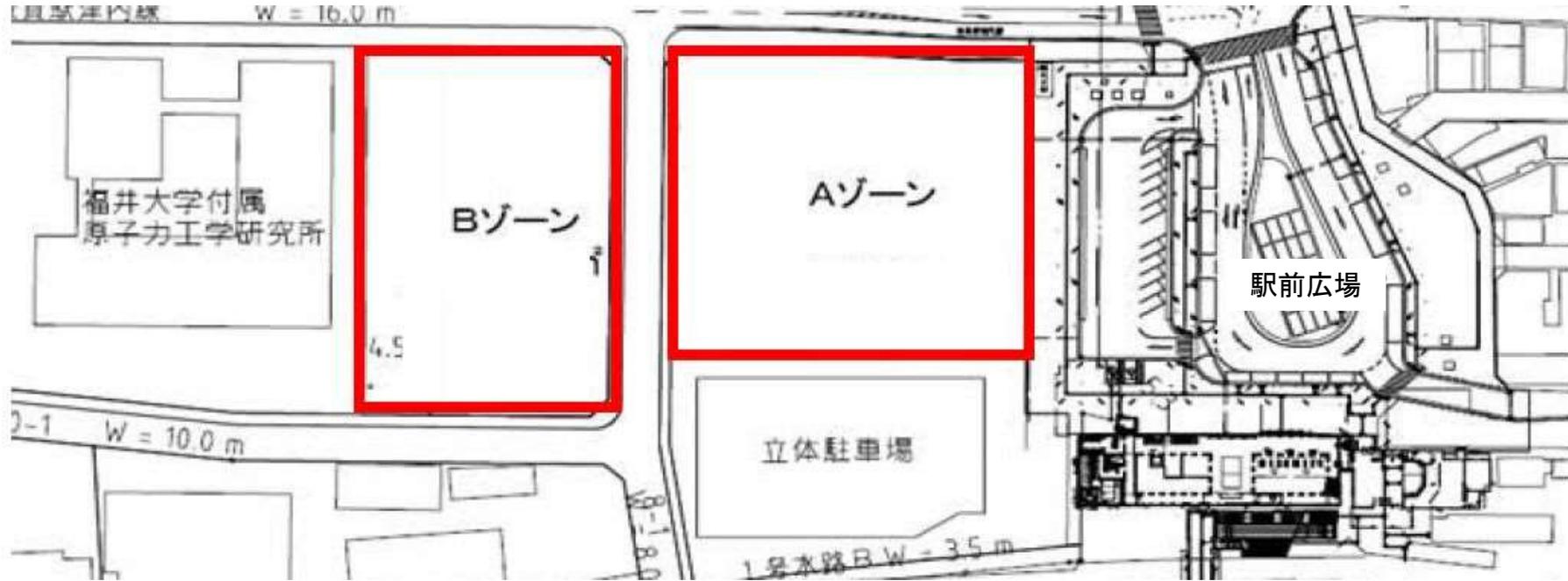
② 新幹線駅前広場



③ 新幹線駅前広場



敦賀駅西地区土地活用事業



導入機能



事業スキーム

